

# (仮称)海洋・地球総合ミュージアム整備運営事業

～国際海洋文化都市清水の実現へ～

関連するSDGsのゴール



## 1. 事業概要について

「国際海洋文化都市・清水」の実現を目指すため、国際客船の玄関口である日の出埠頭周辺に新たに「(仮称)海洋・地球総合ミュージアム」を整備します。

清水港が誇る日本一深い湾「駿河湾」をフィールドとし、駿河湾の豊かな生態系や最先端の海洋関連の学術・研究を五感で学び楽しめるミュージアムを整備、運営していきます。



## 2. セールスポイントと独自性

- 【1】「水深2500Mを超える日本一深い湾・駿河湾」を、五感を通して学び・楽しめます  
駿河湾ならではの豊かな生態系を様々な学問や最新研究を通して、多角的に体験できます。
- 【2】「駿河湾とつながるみんなのキャンパス」をテーマにした新しい形のミュージアム  
ミュージアムスタッフをはじめとする海が大好きな様々な専門分野の人との出会いが待っています。  
自分らしい地球や海との関わり方を考えるきっかけを与え、海洋保全意識を醸成します。
- 【3】駿河湾を起点とする最先端の海洋研究や活動を身近に知り、体験し、関わられます  
「世界の大きな知」を呼び込む拠点を目指し、東海大学やJAMSTECをはじめとする海洋分野のエキスパートが集う機関と連携し、常に新しい情報や発見を発信します。

## 3. 現状と課題



### 【現状】

2023年2月に、株式会社乃村工藝社を代表企業とする特別目的会社「株式会社静岡海洋文化ネットワーク」と事業契約を締結しました。2026年度の開業を目指し、事業を進めています。



### 【課題】

常に新しい駿河湾の魅力や研究成果を発信するため、海洋に関する組織や団体、民間企業と連携をし、静岡市民をはじめ市外、県外の皆様にも愛される魅力的なミュージアムを整備し、ミュージアム活動を継続すること。

## メッセージ

当施設の整備、運営は、海洋研究支援、社会課題解決、地域の活性化に大きく貢献します。

静岡市は、この研究成果を発信し続けるミュージアムを通し、多くの人材が育っていくことを願っております。

みなさまからのご支援をお待ちしております。



整備イメージ図